

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 無線設備の変更の工事の許可を受けた後、許可に係る無線設備を運用するためにはどうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を届け出なければならない。
2. 総務省令で定める場合を除き、総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。
3. あらかじめ運用開始の予定期日を届け出なければならない。
4. 工事が完了した後、運用したい旨連絡しなければならない。

〔2〕 陸上移動業務の無線局（免許の有効期間が1年以内であるものを除く。）の再免許の申請は、次のどの期間内に行わなければならないか。

1. 免許の有効期間満了前3箇月以上6箇月を超えない期間
2. 免許の有効期間満了前2箇月以上3箇月を超えない期間
3. 免許の有効期間満了前2箇月まで
4. 免許の有効期間満了前1箇月まで

〔3〕 次の記述は、送信設備に使用する電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 周波数の偏差及び安定度
2. 周波数の偏差、空中線電力の偏差
3. 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差
4. 周波数の偏差及び幅、高調波の強度

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の空中線電力10ワット以下の無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、次のどの周波数の範囲の電波か。

1. 1,606.5キロヘルツ以下
2. 1,606.5キロヘルツから4,000キロヘルツまで
3. 4,000キロヘルツから21,000キロヘルツまで
4. 21,000キロヘルツから25,010キロヘルツまで

〔5〕 無線従事者の免許証を返納しなければならないのは、次のどの場合か。

1. 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。
2. 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
3. 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
4. 無線従事者が失そうの宣告を受けたとき。

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局のレーダーの技術操作を行うことができるのは、次のどれか。

1. レーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないもの
2. レーダーの空中線電力に影響を及ぼさないもの
3. レーダーの外部の調整部分
4. レーダーのすべての操作

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法

〔7〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

1. 無線通信は、迅速に行うものとし、できる限り速い通信速度で行わなければならない。
2. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
3. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
4. 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔8〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与えている旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちにその呼出しを中止する。
2. 空中線電力を低下してその呼出しを続ける。
3. できる限り短い時間にその呼出しを終える。
4. 10秒間その呼出しを中止してから再開する。

〔9〕 免許人又は登録人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により、総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分を次のうちから選べ。

1. 6箇月以内の期間を定めた電波の型式の制限
2. 3箇月以内の期間を定めた運用の停止
3. 3箇月以内の期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限
4. 再免許の拒否

規

〔10〕 免許人又は登録人は、非常通信を行ったときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちに総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に電話連絡する。
2. 地方防災会議会長にその旨を通知する。
3. 遅滞なく地方公共団体の長にその旨を通知する。
4. できる限り速やかに、文書によって、その旨を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。

〔11〕 陸上移動局の免許状は、どこに備え付けておかなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 無線設備の常置場所
2. 基地局の無線設備の設置場所
3. 基地局の通信室
4. その送信装置のある場所

〔12〕 次に掲げるもののうち、基地局に備え付けておかなければならない書類は、どれか。

1. 無線従事者選解任届の写し
2. 無線従事者免許証
3. 無線局管理規程
4. 無線検査簿